

翻訳 英会話 留学支援

英語力で起業 県内続々

英語力を生かして起業する動きが県内で目立っている。起業家を支援しているSOHOしずおか（静岡市葵区紺屋町）では、女性三人が相次いで翻訳・通訳業や英会話学校などの事業を始めたり、準備を進めたりしている。関係者は「『英語力で起業』がトレンドとなっている」と注目している。



翻訳や通訳を手掛けるレッドフォード賀代子さん
＝静岡市葵区紺屋町のSOHOしずおか

SOHOしずおか 頑張る女性

レッドフォード賀代子さんは英字新聞記者などの経験を生かして昨年九月、「静岡通訳翻訳サービス」として独立。自治体や県内企業のビジネス文書の翻訳や通訳などを手掛けている。「豊富な経験に基づいてビジネス文書や論文など多様な分野に対応できる同業者は、県内にまた少ない。知名度を上げれば、得意先は増えるはず」と営業に汗を流す。

英会話教室を開こうと嶋麻里さん（三宅）は、「は

っぴーEnglish」の事務所を構えた。子供や団塊の世代向けレッスンのほか、習物の習付けと英会話を共に学ぶというユニークな教室を企画した。「楽しみながら自然と英語で意思を伝える力が身に付く教室をつくりたい」と準備を進めて

いる。小粥おさ美さん（三宅）は海外移住や留学のコーディネートをする「語楽rogaku」を始業させた。SOHOしずおかには、ほかにも留学経験のある現役大学生や主婦などから起業に向けた相談

が絶えず寄せられているという。小出宗昭（インキ ユベーション・マネジャー）は「英語教育が進み、飛び抜けた語学力を持った人が自分らしい仕事を探している」と話し、今後とも相談や起業は増えると予想する。